

疾患別にみた訪問リハビリテーションの効果に関する研究

1. 研究の対象

2014年7月～2018年9月に訪問看護ステーショングラーチアにおける訪問リハビリテーションを受けた方

2. 研究目的・方法

訪問リハビリテーション（リハ）の目的は、主体性のあるその人らしい生活の再建及び質の向上を図ることです。そのため、訪問リハには、日常生活のみならず、趣味や家事動作などの生活行為を豊かにする役割があると考えます。当法人では、訪問リハを利用することで、脳卒中患者の日常生活機能を向上させ、生活範囲を拡大することができるとして、生活行為に対する訪問リハの有用性について報告しました。しかし、訪問リハの対象には、脳卒中患者以外の疾患も少なくなく、その効果に関しては明らかになっていません。

当事業所では、脳血管疾患が全体の約50%を占め、次いで整形外科疾患が約20%、神経難病疾患が約15%となっています。今回、脳血管疾患、整形外科疾患、神経難病疾患それぞれにおける、訪問リハの生活行為に対する効果を検討します。

訪問看護ステーショングラーチアリハ部門では、訪問リハの開始時と終了時に訪問リハ担当者が身体機能評価や生活状況の評価を行っています。今回の調査には、このデータを用います。方法は、開始時と終了時の生活行為に関するデータを比較します。

これらの研究は、2018年11月～2019年9月の間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報、生活状況の情報 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院訪問看護ステーショングラーチア
リハビリテーション部門 研究責任者 石森卓矢

住 所：群馬県伊勢崎市大手町1番1号

TEL：0270-20-1588 FAX：0270-20-7677